

京都府病虫害防除所より、8月の発生予察情報が発表されました。

病虫害発生予察第6号(8月) (抜粋)

作物名	病虫害名	予想発生量 〈平年比(前年比)〉
イネ	いもち病 紋枯病 トビイロウンカ ツマグロヨコバイ 斑点米カメムシ類 コブノメイガ	やや多(並) 多(やや多) 並(少) やや少(やや多) やや多(並) 並(少)
ブドウ	べと病	やや少(やや多)
果菜類	うどんこ病 ハモグリバエ類 アザミウマ類	やや少(やや少) やや少(やや少) 並(並)
キュウリ	べと病 褐斑病 炭疽病 斑点細菌病	やや少(少) 多(やや多) 並(並) 並(少)
ネギ	ネギアザミウマ ネギハモグリバエ シロイチモジヨトウ	並(並) やや少(並) 多(やや多)
野菜全般	ハダニ類 ハスモンヨトウ	並(やや少) 並(やや多)

# 営農タイムリー

## イネ

### 1. いもち病(穂いもち)

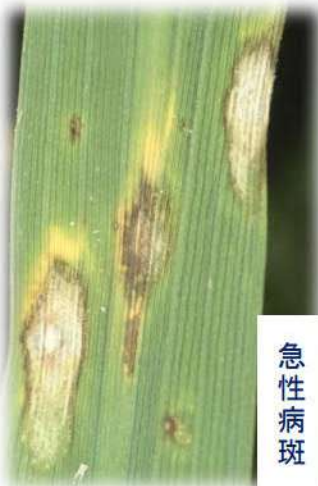
予報内容 発生量 : 平年比やや多い (前年並)

#### 発生生態及び防除上注意すべき事項

- (1) 上位葉へ進展した葉いもちの病斑は、穂いもち重要な伝染源となる。
- (2) 穂ばらみから出穂後約3週間に、日照が少なくなる多雨多湿であると発生が多くなる。
- (3) コシヒカリなど発病しやすい品種や、すでに葉いもちが多発している田、山間部などは特に注意し、防除適期に薬剤防除を実施する。
- (4) 粒剤は種類により施用時期が決まっているので、適期に施用する。
- (5) カメムシとの同時防除剤を使用する場合は、出穂直前から穂揃期に散布する。

### 1. いもち病 防除剤

F: P02(P2)	<b>オリセメト</b> 粒剤	3~4kg/10a	葉いもちには初発の10日前~初発時 穂いもちには <b>出穂3~4週間前</b> 収穫14日前まで / 3回
F: 16.1(I1)	<b>コラトッス</b> 粒剤5	3~4kg/10a	葉いもちに対しては初発10日前~初発時 穂いもちに対しては <b>出穂30日前~5日前まで</b> / 2回
F: 16.1(I1)	<b>コラトッパ</b> ジャンボP	パック10~13個 (500~650g)/10a	葉いもちに対しては初発20日前~初発時 穂いもちに対しては <b>出穂30日前~5日前まで</b> / 2回
F: 16.1(I1)	<b>コラトッパ</b> <b>E2X</b> E2X	250~375g/10a	葉いもちに対しては初発10日前~初発時 穂いもちに対しては <b>出穂30日前~5日前まで</b> / 2回
F: 11(C3)	<b>オリブライト</b> 250G <b>E2X</b>	250g/10a	<b>出穂10日前まで</b> ただし、収穫45日前まで / 1回
F: 11(C3)	<b>オリブライト</b> 1キロ粒剤	1kg/10a	<b>出穂10日前まで</b> ただし、収穫45日前まで / 1回
F: U14(U) F: 16.1(I1)	<b>ブラシンフロアブル</b>	1000倍 60~150L/10a	<b>収穫7日前まで</b> / 2回



急性病斑



慢性病斑



穂いもち

## 2. 斑点米カメムシ類

予報内容 発生量 : 平年比やや多い (前年並)

### 発生生態及び防除上注意すべき事項

- (1) 稲穂を吸汁加害し、斑点米の原因となるカメムシ類には多くの種類がいるが、近年、カスミカメ類による被害が増加している。
- (2) 水田周辺のイネ科雑草の穂を餌にして増殖し、本田へ侵入するので、草刈りを行い、イネ科雑草の出穂を防ぐ。
- (3) 草刈はこの出穂2~3週間前と出穂直前の2回行うと効果的である。1回で済ませる場合は出穂10日前までに行う。なお、刈取り時期が遅れると逆効果になるので注意する。
- (4) 薬剤防除を行う場合、粉剤や液剤では穂揃期と傾穂期の2回防除(共同、一斉)が有効である。また、粒剤では種類により施用時期が決まっているので、適期に施用する。
- (5) 平成22年に、府内で初めてミナミアオカメムシの発生を確認した。本種は他の斑点米カメムシ類に比べて体が大きく吸汁が多いため、少数でも被害が大きくなるので注意する。



ホソハリカメムシ



被害粒、斑点米

## 2. カメムシ類 防除剤

I: 4A	<b>スタークル 豆つぶ</b>	250~500g/10a	収穫7日前まで / 3回以内 [ウンカ類:ツマグロヨコバイ、 カメムシ類は250g/10a]
I: 4A	<b>スタークル 粒剤</b> <b>アルバリン</b> 粒剤	3kg/10a	収穫7日前まで / 3回以内 [イネドロオイムシ:イネミズゾウムシ:ウンカ類: カメムシ類:ツマグロヨコバイ:ニカメイチュウ]
I: 4A	<b>ダントツ</b> 粒剤	3kg/10a	収穫7日前まで / 3回以内 [ウンカ類:ツマグロヨコバイ:ニカメイチュウ、 カメムシ類は3~4kg/10a]
I: 2B	<b>キラップ</b> 粒剤	3kg/10a	収穫14日前まで / 2回以内 [ウンカ類:カメムシ類]
I: 3A	<b>MR.ジョーカー EW</b>	2000倍 60~150L/10a	収穫14日前まで / 2回以内 [イナゴ類:ウンカ類:カメムシ類:コブノメイガ: ツマグロヨコバイ:フタオビコヤガ]

## 3. いもち病、カメムシ類 同時防除剤

イモチエースキラップ粒剤	3kg/10a	収穫35日前まで / 1回以内 [いもち病:ウンカ類:カメムシ類:紋枯病 他]
イモチエーススタークル粒剤	3kg/10a	収穫35日前まで / 1回以内 [いもち病:ウンカ類:カメムシ類:紋枯病 他]
ブラシンジョーカーフロアブル	1000倍 60~150L/10a	収穫14日前まで / 2回以内 [いもち病:ウンカ類:カメムシ類 他]
ブラシンキラップフロアブル	1000倍 60~150L/10a	収穫14日前まで / 2回以内 [いもち病:ウンカ類:カメムシ類]